

5. 哲学科

哲学科には、哲学・倫理学コース及び美学・芸術学コースが開設されており、学生諸君は、いずれかのコースを選択し、履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。コースの選択は、3年次前期の履修登録の際に行う。4年次前期においてコースを変更する場合には、教務委員と面談を行い、検討する。ただし、3年次の登録に際してコースを調整することがある。

【卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

A 知識・技能

- (DP-A1) 哲学（倫理学・美学・芸術学を含む）のさまざまな概念や理論の知識を有し、それらについて説明することができる。
- (DP-A2) 哲学（倫理学・美学・芸術学を含む）のテキスト（文献）や芸術作品・資料の内容を的確に読み解くことができる。
- (DP-A3) 哲学に隣接する人文・社会科学のさまざまな概念や理論の知識を有し、それらについて説明することができる。

B 思考力・判断力・表現力

- (DP-B1) 哲学（倫理学・美学・芸術学を含む）のさまざまな議論において何が問題になっているかを的確に見出すことができる。
- (DP-B2) 上で見出した問題について論理的・分析的に考え、自らの答えを導出することができる。
- (DP-B3) 上で導出された自らの答えやその導出の過程を他者にわかりやすく表現することができる。

C 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

- (DP-C1) 自ら問題を設定し、その問題に対して主体的に取り組むことができる。
- (DP-C2) 他者の多様な思考や価値観を理解し、自らの思考や価値観を相対化することができる。
- (DP-C3) 他者とともに意見や疑問を提示し合い、協働して答えを探求することができる。

以上の教育目標を達成するために設けられた授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ共通教育プログラムにおいて所定の単位を修得した者に、学士（文学）の学位を授与します。

【教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

科目群		卒業認定・学位授与方針（DP）									各科目群の教育目標	
		知識・技能			思考力・判断力・表現力			主体性を保持しつつ多様な人々と協働して学ぶ態度				
		A1	A2	A3	B1	B2	B3	C1	C2	C3		
基幹科目	演習・卒業論文		○					○	◎		○	テキスト・作品・資料の読解や発表、レポート・論文作成を通して、哲学・倫理学・美学・芸術学の学修に共通して必要な読解力、表現力、主体性、協働性などを身につける。
	共通科目	◎			○	○					○	哲学・倫理学・美学・芸術学の学修に共通して必要となる知識、思考力などを身につけるとともに、他者と協働して学ぶ態度を身につける。
	哲学・倫理学系科目	◎	○				○	○				哲学・倫理学のより専門的な学修に必要な知識、テキスト読解力、思考力、表現力などを身につける。
	美学・芸術学系科目	◎	○				○	○				美学・芸術学のより専門的な学修に必要な知識、作品・資料の読解力、思考力、表現力などを身につける。
展開科目		◎	○	○	○					○	○	基幹科目で学んだ内容を発展させた内容について学ぶために必要な知識、思考力などを身につけるとともに、自ら主体的に問題を見つけ出ししていく態度を身につける。
関連科目				○						○	◎	関連領域の基礎知識を身につけ、自らの哲学的思考や価値観を相対化する視点を身につける。

【選択できるコース】

哲学・倫理学コース

西洋を中心として、インド・中国・日本における広い意味での哲学・倫理学を手掛かりとしながら、「哲学する」ことを学ぶ。地域的、時代的、内容的に多岐にわたるが、各思想の基本的ないし原理的内容と意味とを、演習における文献読解と講義における総合的学習によって明らかにし、思考する精神を培う。

美学・芸術学コース

美学の成立と展開を歴史的に追いながら、その問題点と現代における可能性を探る。また、西洋・東洋・日本の美術史とその方法論、あるいは映画・音楽・舞踊演劇・建築などの個別的芸術学を学ぶ。美と芸術をめぐる諸問題を、さまざまな角度から考察する。

【カリキュラムの構成と履修方法】

科目区分		コース			
		哲学・倫理学		美学・芸術学	
① 基幹科目	演習・卒業論文 ^{※1}	16 単位必修		16 単位必修	
		「哲学演習」4 単位を含め、 8 単位以上選択必修		「美学・芸術学演習」4 単位 を含め、8 単位以上選択必修	
	共通科目 ^{※2}	4 単位必修	左記の必修・ 選択必修 計 20 単位 を含め、 32 単位以上 選択必修 ^{※5}	4 単位必修	左記の必修・ 選択必修 計 20 単位 を含め、 32 単位以上 選択必修 ^{※5}
		8 単位以上 選択必修		8 単位以上 選択必修	
哲学・倫理学系科目 ^{※3}	8 単位以上 選択必修	8 単位以上 選択必修			
美学・芸術学系科目 ^{※4}					
②展開科目					
③関連科目					
合計		64 単位以上 ^{※6}		64 単位以上 ^{※6}	

① 基幹科目

文字通り学科の基礎や幹を成す科目群であり、「演習・卒業論文」「共通科目」「哲学・倫理学系科目」「美学・芸術学系科目」から成る。

② 展開科目

「①基幹科目」で学んだ内容をさらに発展させていく内容の科目群であり、自由に選択できる。

③ 関連科目

教職課程の「社会（中学校一種）」「公民（高等学校一種）」の「教科に関する科目」のうち、「①基幹科目」「②展開科目」に含まれていない科目から成る科目群であり、自由に選択できる。

※1 演習・卒業論文

哲学・倫理学コース、美学・芸術学コースともに、「基礎演習ⅠA・ⅠB」「基礎演習ⅡA・ⅡB」の4科目8単位、「卒業論文」8単位の合計16単位を必修とする。

「哲学演習」「美学・芸術学演習」については、哲学・倫理学コースは「哲学演習」の1科目4単位、美学・芸術学コースは「美学・芸術学演習」の1科目4単位を必修とし、さらにこれらの条件を含めて2科目8単位以上を選択必修とする。なお2科目以降は、哲学・倫理学コース選択者が「美学・芸術学演習」を選択することも、美学・芸術学コース選択者が「哲学演習」を選択することも可能である（多様な科目を選択することを推奨する）。ただし、シラバスの「授業のテーマ」で示される内容が異なるものを選択しなければならない。8単位を超えて修得した場合は、その超過修得単位を「②展開科目」の単位として参入させることができる。なお、「哲学演習」「美学・芸術学演習」は、卒業論文の指導教員が担当する科目を履修することが望ましい。

※2 共通科目

どちらのコースを選択しても共通に学ぶことが望ましい科目群である。哲学・倫理学コース、美学・芸術学コースともに「西洋哲学史ⅠA・ⅠB」の4単位を必修とし、それ以外の科目の中から8単位以上を選択して修得することを必須とする。

※3 哲学・倫理学系科目

哲学・倫理学コースは、8単位以上を選択して修得することを必須とする。

※4 美学・芸術学系科目

美学・芸術学コースは、8単位以上を選択して修得することを必須とする。

※5 「共通科目」「哲学・倫理学系科目」「美学・芸術学系科目」からは、哲学・倫理学コース、美学・芸術学コースともに、それぞれのコースの条件を含めて、合計32単位以上を選択して修得することを必須とする。なお、哲学・倫理学コース選択者が「美学・芸術学系科目」を選択することも、美学・芸術学コース選択者が「哲学・倫理学系科目」を選択することも可能である（多様な科目を選択することを推奨する）。

※6 合計 64 単位以上

哲学・倫理学コース、美学・芸術学コースともに、必修・選択必修科目（計56単位）に加えて、「①基幹科目（演習・卒業論文は除く）」「②展開科目」「③関連科目」の中から8単位以上を選択して修得することを必須とする。

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				履修方法		備考
				1	2	3	4	哲学・倫理学	美学・芸術学	
演習・卒業論文	基礎演習ⅠA	半期	2	○				8単位必修	8単位必修	授業のテーマが異なれば複数履修可 超過単位は展開科目へ算入
	基礎演習ⅠB	半期	2	○						
	基礎演習ⅡA	半期	2		○					
	基礎演習ⅡB	半期	2		○					
	哲学演習	通年	4				○			
	美学・芸術学演習	通年	4				○			
	卒業論文	通年	8				○			
共通科目	西洋哲学史ⅠA	半期	2	○				8単位以上 選択必修	8単位以上 選択必修	「論理学A」修得者のみ履修可
	西洋哲学史ⅠB	半期	2	○						
	倫理学A	半期	2		○					
	倫理学B	半期	2		○					
	論理学A	半期	2		○					
	論理学B	半期	2		○					
	芸術学A	半期	2		○					
	芸術学B	半期	2		○					
	哲学概論A	半期	2			○				
	哲学概論B	半期	2			○				
	美学A	半期	2			○				
	美学B	半期	2			○				
	日本哲学A	半期	2			○				
	日本哲学B	半期	2			○				
基幹科目 哲学・倫理学系科目	西洋哲学史ⅡA	半期	2		○			8単位以上 選択必修	8単位以上 選択必修	左記の 必修・ 選択必修 計20単位 を含め、 32単位以上 選択必修
	西洋哲学史ⅡB	半期	2		○					
	日本思想史A	半期	2		○					
	日本思想史B	半期	2		○					
	中国思想史A	半期	2		○					
	中国思想史B	半期	2		○					
	インド思想史A	半期	2			○				
	インド思想史B	半期	2			○				
	哲学特殊講義ⅠA	半期	2				○			
	哲学特殊講義ⅠB	半期	2				○			
	哲学特殊講義ⅡA	半期	2				○			
	哲学特殊講義ⅡB	半期	2				○			
	哲学特殊講義ⅢA	半期	2				○			
	哲学特殊講義ⅢB	半期	2				○			
哲学特殊講義ⅣA	半期	2				○				
哲学特殊講義ⅣB	半期	2				○				
美学・芸術学系科目	日本美術史A	半期	2		○			8単位以上 選択必修	8単位以上 選択必修	
	日本美術史B	半期	2		○					
	東洋美術史A	半期	2		○					
	東洋美術史B	半期	2		○					
	西洋美術史A	半期	2		○					
	西洋美術史B	半期	2		○					
	美学・芸術学特殊講義ⅠA	半期	2				○			
	美学・芸術学特殊講義ⅠB	半期	2				○			
	美学・芸術学特殊講義ⅡA	半期	2				○			
	美学・芸術学特殊講義ⅡB	半期	2				○			
	美学・芸術学特殊講義ⅢA	半期	2				○			
	美学・芸術学特殊講義ⅢB	半期	2				○			

(次ページに続く)

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				履修方法		備考
				1	2	3	4	哲学・倫理学	美学・芸術学	
展開科目	ギリシャ語Ⅰ	半期	2	○						
	ギリシャ語Ⅱ	半期	2	○						「ギリシャ語Ⅰ」修得者のみ履修可
	ギリシャ語Ⅲ	半期	2			○				「ギリシャ語Ⅰ」修得者のみ履修可
	ギリシャ語Ⅳ	半期	2			○				「ギリシャ語Ⅰ」修得者のみ履修可
	ラテン語Ⅰ	半期	2	○						
	ラテン語Ⅱ	半期	2	○						「ラテン語Ⅰ」修得者のみ履修可
	ラテン語Ⅲ	半期	2			○				「ラテン語Ⅰ」修得者のみ履修可
	ラテン語Ⅳ	半期	2			○				「ラテン語Ⅰ」修得者のみ履修可
	サンスクリット語Ⅰ	半期	2	○						
	サンスクリット語Ⅱ	半期	2	○						「サンスクリット語Ⅰ」修得者のみ履修可
	サンスクリット語Ⅲ	半期	2			○				「サンスクリット語Ⅰ」修得者のみ履修可
	サンスクリット語Ⅳ	半期	2			○				「サンスクリット語Ⅰ」修得者のみ履修可
	応用倫理学A	半期	2				○			
	応用倫理学B	半期	2				○			
	科学哲学A	半期	2		○					
	科学哲学B	半期	2		○					
	現代哲学A	半期	2				○			
	現代哲学B	半期	2				○			
	宗教哲学A	半期	2				○			
	宗教哲学B	半期	2				○			
	言語論A	半期	2					○		
	言語論B	半期	2					○		
	比較思想A	半期	2					○		
	比較思想B	半期	2					○		
	キリスト教概論A	半期	2				○			
	キリスト教概論B	半期	2				○			
仏教概論A	半期	2				○				
仏教概論B	半期	2				○				
比較芸術学A	半期	2					○			
比較芸術学B	半期	2					○			
関連科目	日本史概論Ⅰ	半期	2	○						
	東洋史概論Ⅰ	半期	2	○						
	西洋史概論Ⅰ	半期	2	○						
	人文地理学	半期	2		○					
	自然地理学	半期	2		○					
	地誌学	半期	2		○					
	宗教学Ⅰ	半期	2	○						
	宗教学Ⅱ	半期	2	○						
	国際法の基礎	半期	2		○					
	国際紛争処理法	半期	2				○			
	国際政治A	半期	2		○					
	国際政治B	半期	2		○					
	政治学概論	半期	2	○						
	社会学A	半期	2				○			
	社会学B	半期	2				○			
	心理学A	半期	2				○			
	心理学B	半期	2				○			
	社会経済学	半期	2		○					
	社会保障論	半期	2		○					
	国際経済	半期	2		○					
	憲法ⅠA	半期	2		○					
	憲法ⅠB	半期	2		○					
公共部門と財政	半期	2		○						

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。